

学校だより

R 5.1 1.2 4 発行

清水小学校



家庭数

子どもたちの笑顔のために

特別支援コーディネーター

私は、子どもの不適応行動は、その裏側にある心のサインだと受け止めるようにしています。心のサインには、「いい子と言われるように頑張ってきたけどもう限界だ」（過剰適応）とか、「分からないことやできないことだらけで自信がなくなった」（自己肯定感の低下）などがあります。そんな時に、不適切行動を叱っても問題解決にはならず、二次障がいを起こしてしまうケースもあります。心のサインに寄り添いながら解決策を探るようにします。

その時、大切にしていることがあります。一つ目は、**苦手なことに焦点を当てず、得意なことを伸ばす**ことです。子どもの心には3つのタイが住んでいます。

1. ほめられたい・・・「最後までがんばって〇〇ができたね。」などほめられたい気持ち
2. みとめられたい・・・「こんなことができるようになったんだね。」など認められたい気持ち
3. 頼りにされたい・・・「〇〇さんがいてくれて助かったよ」など頼りにされたい気持ち

是非、この3つのタイを大切に育てていきたいものです。

二つ目は、**失敗しても大丈夫。失敗は成長のチャンスと捉える**ことです。

私の好きな絵本に「きみのことが だいすき」（いぬいさえこ作・絵 パイインターナショナル社）があります。「たくさん まちがえる、きみはすてき たくさん しっぱいする、きみはすてき いいの いいの それが いいの たくさん 前に すすんでいるよ」とあります。保護者の皆様、「うちの子だけ、どうして・・・。」と落ち込んだ気持ちになった時、よかったらこの本を開いてみて下さい。





陸上総体を終えて

今年の総体では、60mハードル走で、念願の松山市1位になることができました。「今まで練習を頑張ってきて本当に良かったな。」というのが一番の気持ちです。僕は去年も陸上総体に60mハードル走の選手として出場しました。しかし、思うような結果が出せず「来年こそは頑張ろう」と決意しました。

今年は、ハードルまでの歩数を合わせることを意識して練習を積み重ね、本番でも落ち着いて練習の成果を発揮することができました。納得の行く結果が出せたことを本当にうれしく思っています。教えてくださった先生にも感謝しています。

県大会でも、60mハードル走で3位、仲間と全力を尽くした4×100mリレーでは8位になることができました。応援してくださった皆さんに感謝しています。

6年



待ちに待った陸上総体。私は、この日のためにたくさん練習をしてきました。私の種目は走り高跳びで、1m12cmが自己ベストでした。そして本番ではこの記録を上回れるよう頑張ろうと思いました。

スタジアムに着くと緊張感が高まり、「跳べなかったらどうしよう。」という不安も大きくなってきました。しかし、いざ自分が跳ぶ順番になると仲間からの大きな声援が聞こえてきてとても安心しました。

本番の記録は、1m10cmでした。目標にしていた自己ベスト更新は叶わなかったけれど、自分の持っている力は出し切ることができたと思います。これまで一緒に練習してきた仲間や教えてくださった先生方、応援してくれた家族に感謝したいと思います。

6年



清水っ子、がんばっています！！

1年

わたしは、ならいごとのフラメンコといえのおてつだいをがんばっています。フラメンコは、はっぴょうかいがあるのであしのはこびなど、きをつけてれんしゅうしています。おてつだいは、おふるあらいをしています。はいる人がきもちよくはいれるようにそうじをしています。

3年

私は、総合の学習で町探検に行つて清水のじまんをたくさん見つけました。一草あんでは、種田山頭火さんの紙芝居を読んでもらい、山頭火さんが自由な俳句をたくさん作っていたことが分かりました。私のお気に入りの俳句は、「いつも一人で赤とんぼ」です。今、グループの友達と協力して新聞にまとめています。みんなが「なるほど」と思ってくれるような分かりやすい新聞が作れるようにがんばりたいです。

5年

わたしが頑張ったことは、音楽会に向けての練習です。今年は、木琴のオーディションを受けましたが、残念ながら合格できず、悔しかったです。でも、気持ちを切り替えて鍵盤ハーモニカの練習を頑張りました。また、連合音楽会に出場するので、歌も頑張りました。出前教室で教えてもらって美しい大きな声が出せるようになりました。本番でも練習の成果を出し切れたと思います。

2年

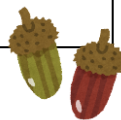
わたしは、算すうの「三角形と四角形」の学しゅうをがんばっています。角が3つあるのが三角形で、角が4つあるのが四角形です。じゅぎょうでは、3本の直線でかこまれている形が三角形で、4本の直線でかこまれている形が四角形とならいました。また、「ちょう点」や「辺」という言ばも学びました。もっとべんきょうをして、なんでもできるようになりたいです。

4年

私のクラブはバトミントクラブです。バトミントンは今までやったことがなくて、初めてしてみるとすごく楽しかったです。いろいろな人と一緒にバトミントンをしています。不安もあったけど5・6年生の人達が「一緒にやる？」と声をかけてくれて嬉しかったです。他には試合もしました。少しだけ勝つて嬉しかったです。いろいろなことを5・6年生の人にやってもらったので、今度は自分が下の学年にしてあげたいと思いました。

6年

私は11月16日にオンラインでいじめSTOP!デイに参加しました。みんな演劇を見て話し合うことを通して、大事なことがわかりました。もし、周囲の友達が失敗しても笑わないことや言い方に気を付けることなどです。特に、私が大事にしようと思ったことは、みんな一人一人に個性があることを忘れず、誰に対しても態度を変えないことです。このようなことを普段から意識しながら過ごしたいです。



校内音楽会特集！

つなげよう 清水の音色 95年目の夢と笑顔へ



きょうは、はじめてのおんがくかいでした。みんなでこころをあわせて、うたったりえんそうしたりしました。「きらきらぼしへんそうきょく」のがっそうも、しきを見ながらすることができました。じょうずにひけて、とてもうれしかったです。

1年

音楽会で一番心にのこったことは、リーダーで「風のおき手紙」をふいたことです。はじめてがくふを見た時は、リズムがむずかしくて、ふくことができませんでした。でも、友達に教えてもらったり、音楽室で練習したりして、体育館の練習では、かんぺきにふけるようになりました。家でも練習して、いよいよ本番です。きんちょうしたけれど、一生けんめいふくとうまくできたので、すごくうれしかったです。

3年 中山 ゆえ

ぼくは、この音楽会で全校と保護者の方々の前に立つと、とてもきんちょうしました。想像していたよりも、何百人も多く、足がふるえるほどでした。ですが、最後までやりきるぞという気持ちでがんばりました。「この地球のどこかで」では、ともに歌ってきた仲間を思いながらしっかり声を出して、表情も意識して歌いました。「情熱大陸」では、指揮者をしっかり見て、音量やスピードを調節しました。家族が「歌声がきれいだったよ。」「合奏もすごかったよ。」と言ってくれました。小学校生活最後の音楽会だったけれど、悔いなく、最後までできたのでよかったです。

6年



音楽会は、いろいろな音楽を聞くことができてとっても楽しかったです。「大きな古時計」は、れんしゅうの時はむずかしくて、タイミングも合わなくて、ずっと「本ばんはできるかな。」とっていました。それでも何回もれんしゅうをつづけたことで、本ばんは上手に音をならすことができて、その時、えがおでえんそうできたと思いました。またつぎの音楽会で、みんなでえんそうがしたくてたまりません。

2年

わたしは、音楽会で3回出演しました。1つ目は、器楽部の演そうです。お家の人や全校のみんなの前で演そうすることは、はじめてだったので、とてもきんちょうしました。しかし、どうどうと発表することができました。2つ目はトーンチャイムクラブでの発表です。ねんりんピックでも演そうした曲をみんなにも聞いてもらえてうれしかったです。3つ目は4年生の演そうです。わたしは、木きんをたん当しました。たくさん練習した成かで本番はとても上手に演そうすることができたと思います。それぞれきんちょうしましたが、よい思い出になりました。

4年

「新時代」では、シンバルでミスをしなにか不安でした。でも、先生たちに教えてもらったことを思い出してやると上手にできました。ぼくは、練習でミスをしていなかったら、本番でここまで上手にできていなかったかもしれないと思いました。ミスをしてでもそれを無駄にせず練習を重ねると、そのことができるようになるということを学んだので、これからもミスしてもあきらめずにがんばっていきたいです。

5年